

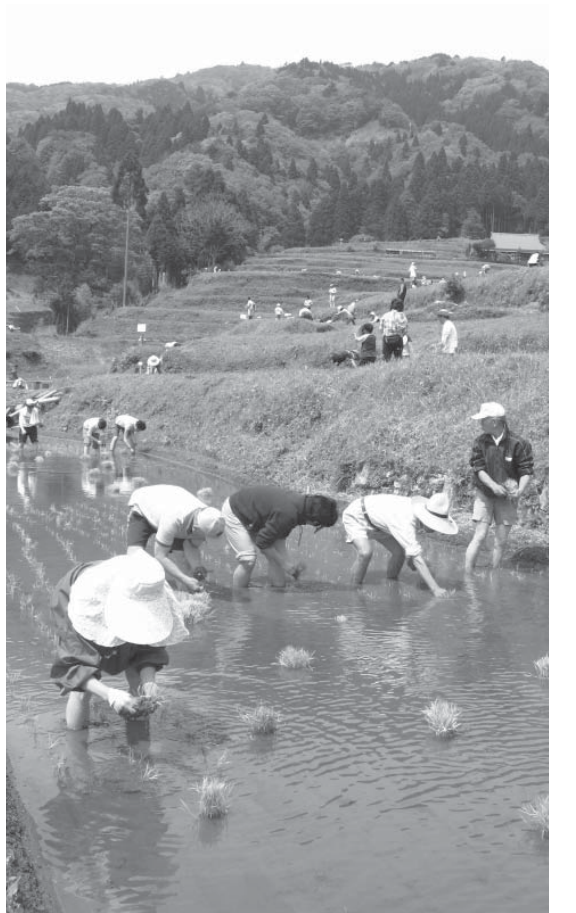


次に、中小企業への支援策として「高島市企業活動支援条例」に基づき、平成20年度から3年間、企業の設備投資や雇用促進ならびに労働環境の整備を支援してまいりましたが、まだまだ厳しい経営環境が続いておりますので、この制度をさらに2年間延長し、引き続き、がんばる市内の企業を応援してまいります。

## びわ湖源流の郷 たかしま戦略計画」の策定

「びわ湖源流の郷たかしま」の戦略を具体的に進めるため、3つの里である里山、里住、里湖において、生物の多様性を保全し、地場産業や観光面などに、その恵みを持続可能な方法で活用するため

当たりましては、先の第1回高島市議会臨時会で、国の経済対策関連予算として前倒しで計上させていただきましたマキノ東小学校屋内運動場の改築事業をはじめ、ガリバーホール舞台設備の改修事業、知内および浜分漁港の改修事業、新旭学校給食センター調理機材の整備事業など、27事業、約6億5千5百万円の予算執行も含めまして、地域の活性化、経済の活性化に取り組んでまいります。平成23年度予算につきましては、大きな柱を、6つ挙げております。



の方針を「びわ湖源流の郷たかしま戦略計画」として策定します。計画策定に当たりましては、環境負荷の少ない農林水産業の振興を通じた、高島のブランドづくり、市全域をフィールドとした環境体験の場、地域のつながりの再生、また、内湖・湿地の保全・活用などにより環境と産業の循環に向けて「暮らし・産業・文化」を育む戦略といたしたいと考えております。

## 活力ある地域産業の創生

高島市では、地域に根ざした、さまざまな生産活動が展開されていますが、少子・高齢化の進展に伴う、後継者不足や販路開拓などの、多くの課題も抱えています。そこで、びわ湖の源流で育った高島の農産物、林産物、水産物などの特産品をブランド化するた



## いきいきコミュニティの創生

市内には、200の区・自治会がございますが、地域の状況、世帯数、高齢化率など、それぞれ違いがあり、また、さまざまな課題を抱えながら、自治会活動をしていただいております。

こうした活動に対しまして、新年度から「創意と工夫による魅力あるまちづくり」を目的として、「高島市みんなで創るまちづくり交付金」制度を創設いたします。

この交付金制度は、従来のように、限られた事業メニューに基づく補助金ではなく、それぞれの地域課題の解決を図るうえで自由裁量度の高い交付金でございます。住民合意のもとに計画的、戦略的にご活用いただき、元気のある地域コミュニティづくりの一助になるものと期待をいたしているところでございます。

また、地域のニーズに合った協働型の地域づくりを進めるため、

## ごみ減量社会の創生

市民の皆様との協働提案制度を創設し、新年度は、「地域に広げよう、ごみ減量、紙資源ごみ分別徹底大作戦」や、「心と体いきいき健康づくり」など採択された6事業について事業化を図ってまいります。

高島市において、1年間に排出されるごみの量は約2万トンであり、その処理経費として、平成21年度の実績で約14億5千万円と膨大な経費が必要となっております。また、1日に換算すると約40トンの可燃ごみが排出されており、環境センターのごみ焼却炉への負担と、維持管理経費がかかっている現状がございます。

この問題の解決に向けて、市民提案事業を活用しながら、今後3年間は「紙ごみの減量」をテーマに、市民の皆様と事業所、そして行政が一致協力して、可燃ごみの



排出量1日あたり30トン以下を目標に「ごみ減量大作戦」を展開してまいります。また、市といたしまして、このプロジェクトを実効あるものにするため、一部組織機構の見直しを行い、推進体制の強化を図るこ

め、市独自の農産物認証制度による付加価値を高め、高島ブランドの確立と販路拡大を図ります。その具体的な方策として、これまでの地産地消に加え、吹田市北千里駅前で実施しております「びわ湖源流の郷たかしま産直市」をはじめとする、地域外での商い、すなわち「地産外商」を推進してまいります。また、地場産業である高島織維の振興策として、昨年は高性能サイジング設備の導入に係る助成をさせていただきましたが、引き続き産地事業者の新製品開発を促進する事業に対しまして支援をさせていただきます。

あわせてまして、全国の生産量の90%を誇る高島扇骨に対しまして、地元産竹材を活用した、付加価値の高い扇骨づくりに取り組むため、安曇川沿岸の竹林整備事業に引き続き助成をいたします。林業振興では、高島産木材の利用拡大に向けて、地域産材を活用した「和室キット」の製作を支援し、都市での展示会でPRするなど、販路の拡大と地域産材活用を促進してまいります。